

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	11月		12月				1月			2月	3月	備考				
				20	27	4	11	18	25	1	8	下	上	中		下	前	後	
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・運用開始準備	検討・設計															
			(予定) ・運用開始準備		現場作業	運用開始準備													
	固体廃棄物貯蔵庫の設置	固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事	(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事	検討・設計															
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事		現場作業	固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事(地下2階) 躯体工事(地下1階)													
	2. 保管適正化の推進	覆土式一時保管施設3,4槽の設置	設置工事(3槽) 設置工事(4槽)	(実績) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)	検討・設計														
(予定) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)				現場作業		設置工事(3槽) 設置工事(4槽)													
一時保管エリアの追設/拡張	伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備	伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備	(実績) ・伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備	検討・設計															
			(予定) ・伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備		現場作業	伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備													
雑固体廃棄物焼却設備	処理運転 (A・B系)	処理運転 (A・B系) 停止 (A・B系)	(実績) ・処理運転 (A・B系)	現場作業	【A系】 処理運転 停止(ばい煙測定) 停止(年末年始)														
			(予定) ・処理運転 (A・B系) ・停止 (A・B系)		【B系】 処理運転 停止(ばい煙測定) 停止(年末年始)														

最新工程反映
躯体工事(地上1階)

最新工程反映

最新工程反映
停止(ばい煙測定) 停止(年末年始)

最新工程反映
停止(定期点検)

・【A系】
2016年12月20日~2016年12月23日: ばい煙測定停止
2016年12月31日~2017年1月3日: 年末年始停止
・【B系】
2016年12月19日~2016年12月20日: ばい煙測定停止
2016年12月31日~2017年1月3日: 年末年始停止

固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画

・2015年7月17日: 実施計画変更認可申請認可

・2018年1月: 竣工予定

・2014年8月12日: 安全協定に基づく事前了解

・2015年11月13日: 使用前検査(3槽)

・4槽のガレキの受入れ時期が、来年度4月見込みとなったため一時施工中断。
再開時期は2017年3月予定

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	11月		12月				1月			2月	3月	備考			
				20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29				
				上 中 下 前 後														
保管管理計画		3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 伐採木一時保管槽への受入(枝葉) 	検討・設計	伐採木一時保管槽の追設・拡張に向けた準備 一時保管エリアの保管量、線量率集計													
				現場作業	ガレキ等の将来的な保管方法の検討													
				現場作業	線量低減対策検討													
固体廃棄物の保管管理・処分計画		4. 水処理二次廃棄物の長期保管等のための検討	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド) 【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド) 【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管 	検討・設計	【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド)													
				現場作業	スラリー抜出等確認試験(HICを活用した試験の検討)													
				現場作業	安定化装置の概念設計													
処理・処分計画		5. 固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海等)分析試料のJAEA等への輸送 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海等) 	検討・設計	【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査													
				現場作業	<p>実績反映</p> <p>輸送準備(放射能評価、計画書作成等)</p> <p>分析試料のJAEA東海等への輸送</p>													
				現場作業	<p>▼増設多核種 活性炭</p> <p>▼増設多核種 炭酸塩スラリー</p> <p>▼増設多核種 Sb、ヨウ素吸着材</p> <p>PCV滞留水(2、3号機滞留水)及びタービン建屋(1~3号機)滞留水等の分析(γ核種、β核種、α核種、金属元素濃度)</p> <p>分析結果(PCV滞留水α核種の一部を除く)</p> <p>最新工程反映(対象試料追加)</p> <p>最新工程反映(12月→3月)</p> <p>分析結果(1号機タービン建屋滞留水・スラッジ)</p> <p>ガレキ(1号機R/B天井コンクリートコア、デッキプレート試料)の分析(α核種、β核種、γ核種)</p> <p>汚染水(滞留水、セシウム吸着装置出口水試料)の分析(α核種、β核種、γ核種)</p>													
処理・処分計画		6. JAEA分析・研究施設の整備(施設管理棟、第1棟、第2棟)	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内除染・伐採作業 施設管理棟建設工事 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内除染・伐採作業 施設管理棟建設工事 第1棟建屋工事 	検討・設計	敷地内除染・伐採作業													
				現場作業	施設管理棟建設工事													
				現場作業	最新工程反映 第1棟建屋準備工事													

最新工程反映
伐採木一時保管槽への受入(枝葉)

最新工程反映
輸送準備(放射能評価、計画書作成等)

最新工程反映(12月→3月)
分析結果(1号機タービン建屋滞留水・スラッジ)

最新工程反映
第1棟建屋準備工事

これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている
<http://fukushima.jaea.go.jp/initiatives/cat05/tech-info.html>

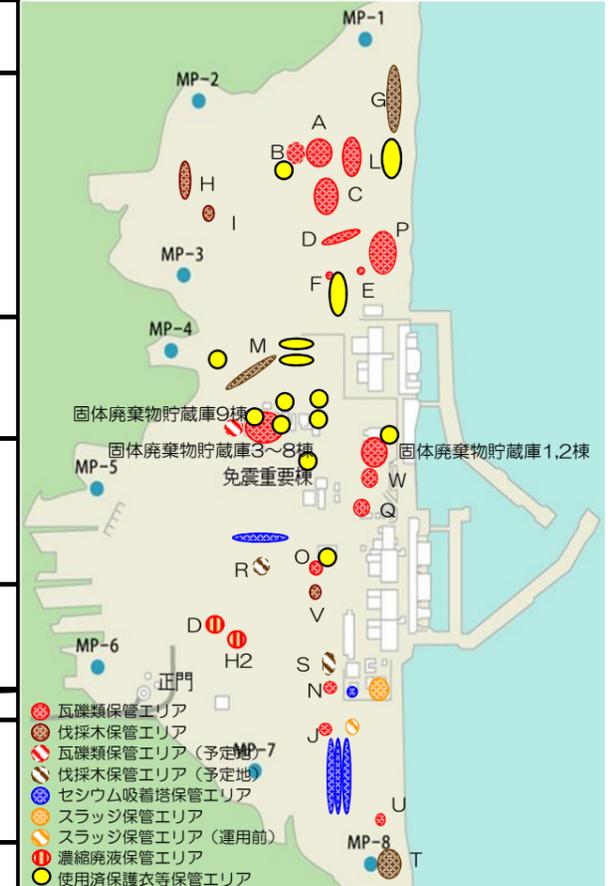
・2016年9月23日: 実施計画認可申請

・2017年度竣工予定

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2016.11.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量※1	前回報告比※2 (2016.10.31)	変動※3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,800 m ³	0 m ³	—	53%	135400 / 181200 (75%)	・フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日～) 2016年11月末時点で331基(コンテナ)保管。 ・エリアCの焼却可燃物 リスク低減の観点から容器収納しエリアPにて一時保管中。	
	C	屋外集積	0.01未満	49,900 m ³	+2,100 m ³	①②③	79%			
	F	屋外集積	0.01未満	5,900 m ³	0 m ³	—	79%			
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	89%			
	N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	0 m ³	—	45%			
	O	屋外集積	0.01	26,200 m ³	0 m ³	—	95%			
	P	屋外集積	0.01	41,100 m ³	+200 m ³	②④	64%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	32400 / 57300 (57%)		
	E	シート養生	0.02	10,900 m ³	+2,000 m ³	①③	68%			
	P	シート養生	0.02	6,100 m ³	0 m ³	—	67%			
	W	シート養生	0.05	12,800 m ³	微増	—	44%			
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	20300 / 27700 (73%)	・覆土式一時保管施設(第3槽) 瓦礫類収納完了:2015年8月21日 仮覆土:2015年10月26日完了	
	A	仮設保管設備	0.30	1,700 m ³	微増	—	24%			
	E	容器※4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%			
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器※4	0.02	7,700 m ³	+100 m ³	①⑤	64%	7700 / 12000 (64%)	・主な瓦礫類は、1~3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。	
	合計(ガレキ)			195,900 m ³	+4,400 m ³	—	70%			
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74%	69300 / 81500 (85%)	・工事により発生した幹・根を随時受入中。	
	I	屋外集積	0.01	9,600 m ³	-900 m ³	⑥	92%			
	M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	0 m ³	—	88%			
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65%		19600 / 24900 (79%)
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
合計(伐採木)			89,000 m ³	-800 m ³	—	84%				
保護衣 屋外集積	容器	0.03	69,100 m ³	-500 m ³	⑦⑧	97%	69100 / 71200 (97%)	・雑固体焼却設備の運用開始(2016年3月18日) ・使用済保護衣等焼却量 882t(2016年11月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 112本(2016年11月末累積)		
合計(使用済保護衣等)			69,100 m ³	-500 m ³	—	97%				

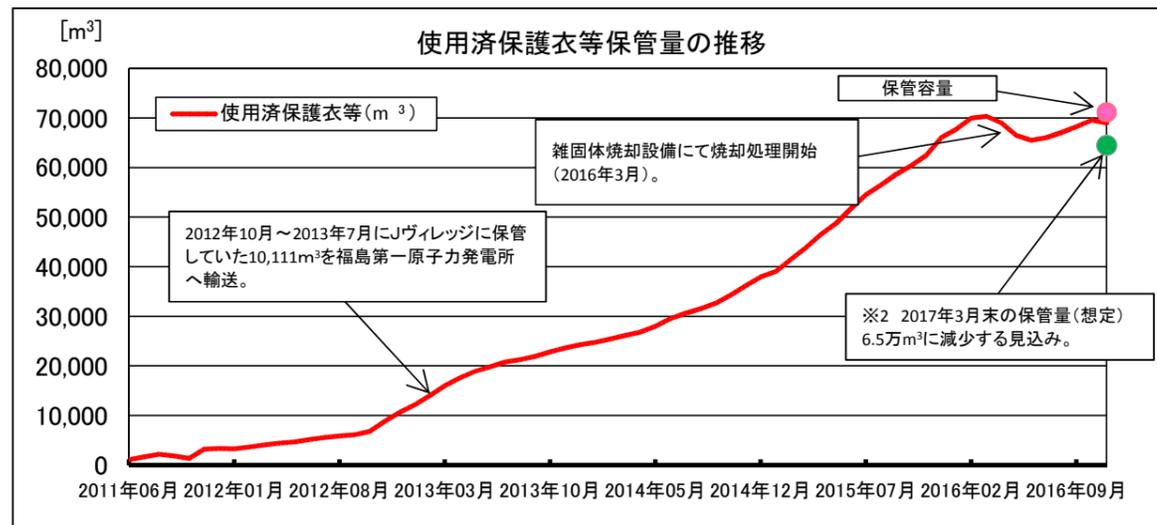
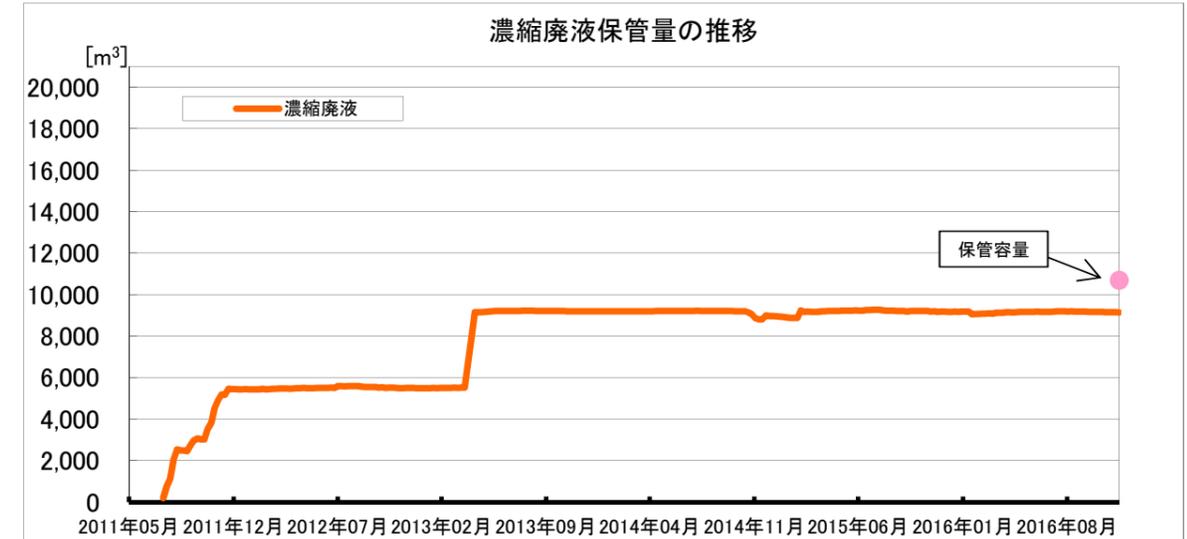
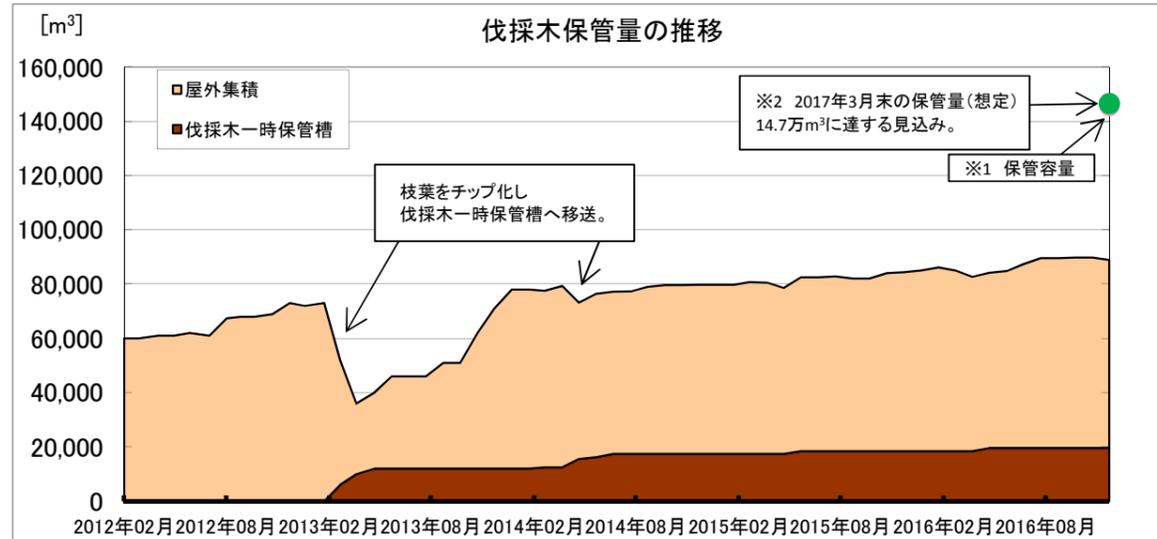
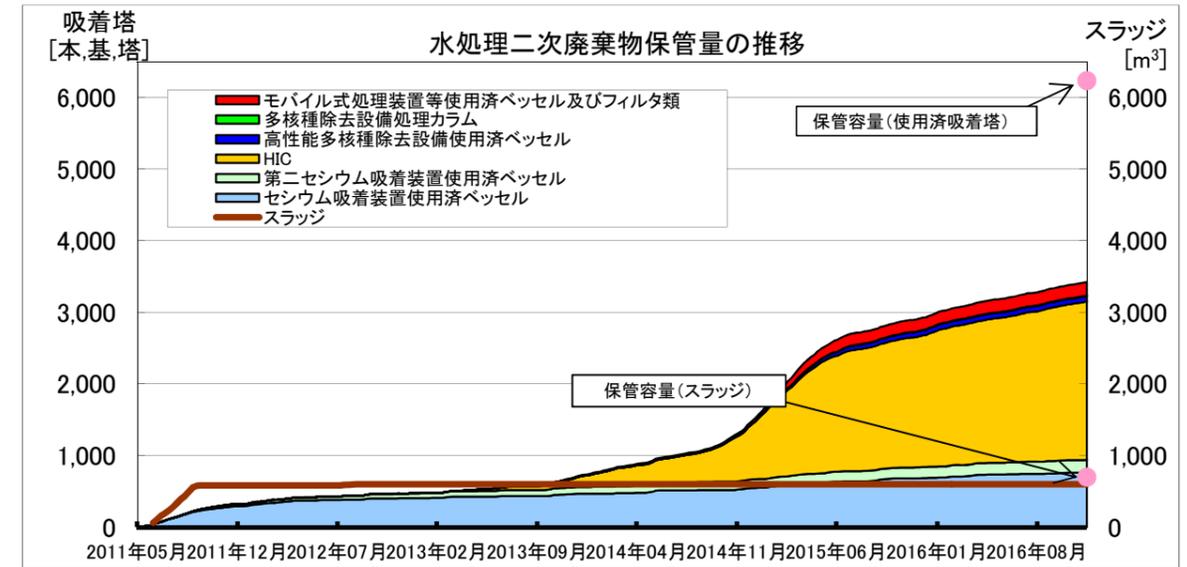
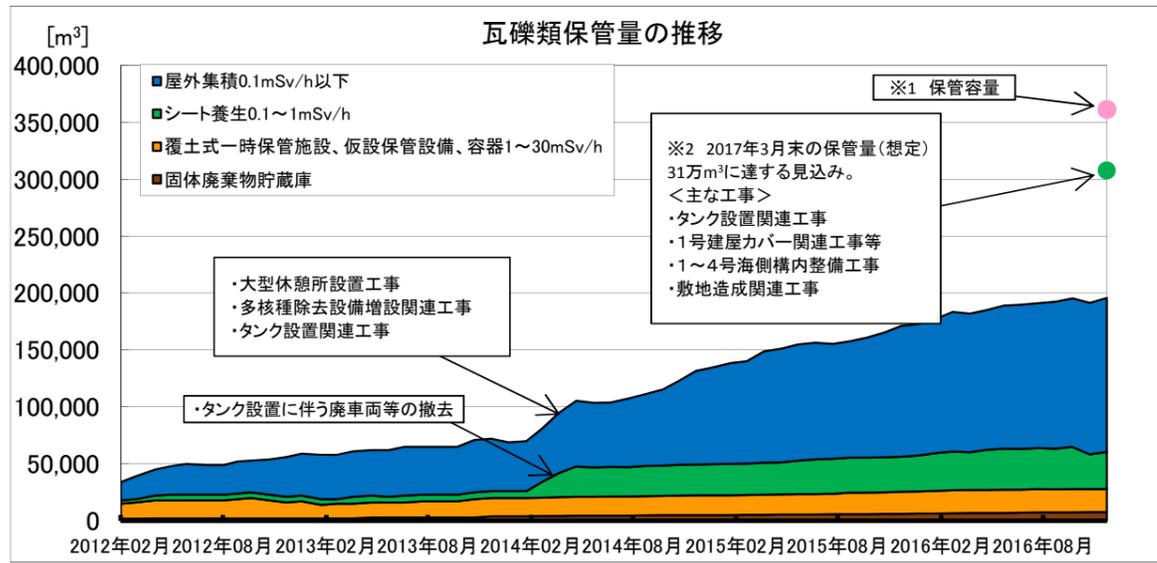
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由: ①1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ②タンク設置関連工事 ③フェーシング工事 ④焼却対象物の受入 ⑤水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管
 ⑥敷地造成関連工事 ⑦焼却処理 ⑧使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2016.12.15時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2016.11.17)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バessel	758 本	0 本	3423 / 6239 (55%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日)	
		第二セシウム吸着装置使用済バessel	180 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,263 基			+6 基
			増設	952 基			+9 基
		高性能多核種除去設備使用済バessel	高性能	73 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済バessel及びフィルタ類		188 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,144 m ³	-23 m ³	9144 / 10700 (85%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・保管量に「タンク底部~水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。(約100m ³)	

瓦礫類・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液・使用済保護衣等の保管量推移



※1 瓦礫類・伐採木の保管容量は、実施計画(2015年7月17日認可)の保管容量を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の2016年度末の保管量(想定)は、2015年7月の予測値。